

ネクストエナジー、米ソフト開発に出資 情報基盤構築へ

日本経済新聞 地域経済

2017年12月21日 2:19 [有料会員限定]

太陽光発電施工のネクストエナジー・アンド・リソース（駒ヶ根市）は20日、米国カリフォルニア州に本社を置くソフトウェア開発企業のインフィスウィフトに出資したと発表した。出資額は非公表。あらゆるモノがネットにつながるIoT技術を活用して収集した発電量などのデータを一括管理する情報基盤の開発を目指す。

太陽光発電設備の維持・管理や保守の作業はIoTや人工知能（AI）を活用すれば効率が上がるとされる。利用者の電力使用量や発電状況などのデータを一括管理する情報基盤を構築し、高効率で安定した電力の供給体制づくりを狙う。

ネクストエナジーの伊藤敦社長がインフィスウィフトのアドバイザリーボードのメンバーとなり、連携を緊密にする。